

第 68 回 仙台市 中学校 総合体育大会 軟式野球競技要項

1 期 日 令和元年 6 月 8 日 (土)・9 日 (日)・10 日 (月)

試合開始予定時刻		
○ 5 試合 の場合	① 8:00~ ② 9:50~ ③ 11:40~ ④ 13:30~ ⑤ 15:20~	○ 4 試合 の場合
		① 8:30~ ② 10:30~ ③ 12:30~ ④ 14:30~
		○ 3 試合 (2 試合) の場合
		① 9:00~ ② 11:00~ ③ 13:00~

2 会場と日程 (予定)

	大会会場	8日(土)	9日(日)	10日(月)	11日(火)	12日(水)
青葉区	宮城広瀬野球場	○④	○②	○②	予備	予備
	桜ヶ丘球場	○③	○②	予備	予備	×
	御町東二丁目公園野球場	○③	予備	予備	予備	×
太白区	評定河原球場	○②	○②	○②	予備	予備
	秋保湯元公園野球場	○②	○②	予備	予備	×
泉区	シェルコムせんだい	○④	○②	○②	予備	×
	七北田公園野球場	○③	○②	予備	予備	×
	将監公園野球場	○②	予備	×	×	×
宮城野・ 若林区	仙台市民球場	○③	○③	○③	予備	予備
	海岸公園野球場	○③	○②	予備	予備	予備
	今泉野球場	予備	予備	予備	予備	×

3 競技規則

2019年日本野球規則、公益財団法人全日本軟式野球連盟指導者必携及び市中体連野球専門部総会の申し合わせ事項による。

4 大会規則

〔1〕競技方法

i) 競技に関する事項

- (1) トーナメント方式7イニング制とする。
- (2) 5回以降7点以上差がついたときは、コールドゲームを宣言する。
- (3) 正式試合は、通常7イニングから成る。
- (4) 暗黒・降雨などで試合が途中で中止になった場合、原則として再試合にしないで、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。また、試合の中断及び日程の変更は大会本部で決定する。
- (5) 特別ルールについて
延長戦は9回までとし、それでも勝敗が決しない場合は次のような特別ルール（特別延長戦）を適用する。
 - ① 9回終了時点からの継続打順で攻撃を行う。走者は、先頭打者の前打者を一塁走者とし、二塁の走者、三塁の走者は順次前打者として、無死満塁の状態でも1イニング行い、得点の多いほうを勝ちとする。なお、勝敗の決しない場合には、以後も継続打順で勝敗が決するまでこれを繰り返す。
 - ② 選手の交代などは通常の規定がそのまま適用される。
- (6) スパイクに白線の入っているものは認めない。ゴムポイントのスパイクの使用は認める。
(ただしシェルコムせんだいでは金具のスパイク以外のシューズを使用することとする)
- (7) 金属バットについては、J S B Bのマークの入った公認されたものとする。
- (8) ユニホームは同一系統色とし、派手なものは避ける。
- (9) 捕手のレガース・ヘルメット・プロテクター・スロートガード・フェールカップはつけるものとする。 ※控え捕手も同様の装備をする。
- (10) 打者・走者・次打者のヘルメット（両耳用）は、必ずつけるものとする。また、ボールボーイ/レナコーチャも同様の装備をする。
- (11) 用具は必ず規定のものを使用し、自軍ベンチ内におく。（バットリング、鉄の棒の禁止）
- (12) メガホンのベンチ持ち込みは1個とし、監督のみ使用を認める。
- (13) 試合終了後のあいさつで全て完了とし、次の試合のために速やかにベンチをあける。

ii) 運営に関する事項

- (1) 出場校は、定刻 1 時間前に集合し、本部に通告すること。
- (2) 試合前のフィールドイングは原則として 7 分以内とする。
- (3) メンバー表は、第 1 試合は試合開始時間 40 分前に、第 2 試合目以降は前の試合の 4 回終了時に 5 通(アウス、対戦チーム、審判、本部、自チームの計 5 通)本部に提出する。
- (4) プレーヤーズベンチには、登録された者の他は、着席を認めない。
なお、監督は背番号を 30 を着用する。着用している場合はダイヤモンド内に入ることが出来る。コーチの服装はユニフォームまたは正装とし、背番号 29・28 を着用する。
- (5) 登録選手は、ポジション順に背番号をつけること。
- (6) 1, 3 塁コーチは、ユニホーム着用の選手に限る。
- (7) 選手交代の通告は監督が行う。

※試合中に監督がとることのできるタイムの回数は、7 イニングに 3 回までとする。また、捕手または野手が集まってとるタイムの回数は 3 回 (7 イニング) までとする。延長戦の場合は 2 イニングで 1 回とする。

- (8) 攻撃側のタイムは、7 イニングに 3 回以内とする。なお、延長戦 (特別延長戦も含む) は、2 イニングに 1 回とする。
- (9) 審判員に対しての規則適用上の疑義については、当事者と監督が直接質問することができる。
- (10) 故意に試合の進行を妨げるような行為は絶対しないこと。
- (11) 選手の頭髪、身なりなどは中学生らしく、試合中はもちろんのこと、試合の前後においてもスポーツマンらしくマナーには十分注意すること。
- (12) 各チームの部長か監督は、球場を去る前に本部に連絡し、次の試合日程の確認を行うこと。
- (13) 登録選手の変更は、校長の理由書をつけて、大会 2 日前の物品引き渡しの日までに委員長に提出し、部会長の許可を得る。
- (14) 不祥事を起したチームは、紛争処理委員会の裁定に基づいて年間の大会出場を停止する場合もある。

(注 1 : 紛争処理委員会は、会長、理事長、部会長、正副委員長、正副審判長で構成する)

(注 2 : 規則 3.03 原注 : 「投手は 1 イニングで投手以外の守備に 2 度以上つくことは許されない」については今大会では適用しない。

規則 8.06 : 「1 イニングに投手へのアドバイスのためのタイムが 2 回とられた場合自動的に投手交代となる」については適用する。)

[2] 申込み方法

仙台市中体連のホームページより申込み用紙をダウンロードし、中総体の抽選会にて申込みをする。

[3] 選手登録

- (1) 監督 1 名および部長は当該校校長・教員・部活動指導員、コーチは当該校教職員、部活動指導員、または学校長が承認した外部コーチとする。部活動指導員を登録する際には、「部活動指導員確認書」の写しを、外部コーチを登録する際は、外部コーチ承認届けを登録と同時に提出すること。また、学生のコーチ登録は認めない。
- (2) 合同チームの参加について
原則として単独校のチームでの参加を原則とするが、仙台市中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規程」により合同チームの参加を認める。参加にあたっては下記の専門部追加規定を厳守する。

[4] 使用球

全日本軟式野球連盟公認の M 号球

[5] その他

(1) 審判

宮城県野球連盟 審判部